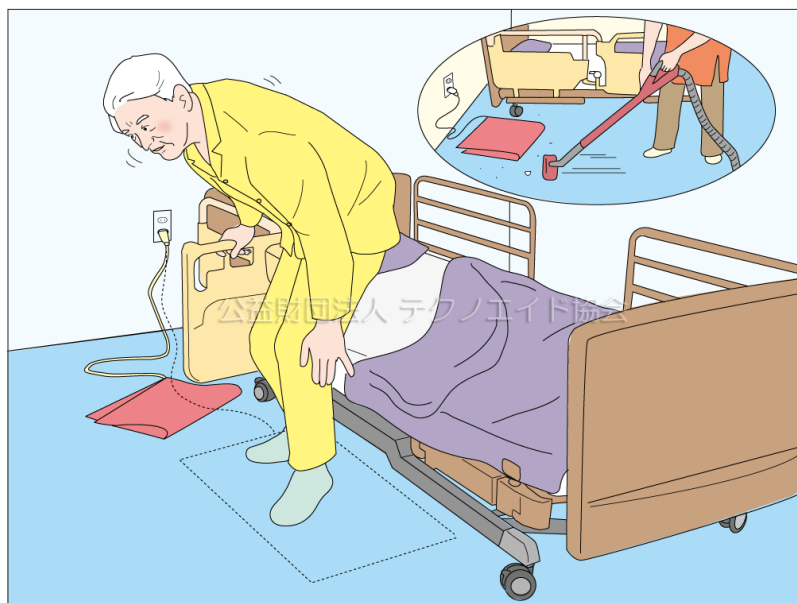


Case : 358


離床を感知できず、自力移乗で転倒しそうになった

場面の説明

センサーマットが定位置になかったため、離床を感知できず、介助レベルの利用者が自力で移乗し転倒しそうになる



利用シーン  移乗

主な利用場所  寝室

介護保険の種目  認知症徘徊感知機器

分類コード (CCTA95) 215190 (徘徊老人監視システム)

介護テクノロジー  見守り・コミュ (在宅)

二次元バーコード



解説

コールボタンで介護職員を呼ぶことができないため、センサーマットで離床確認をしていました。誰かがセンサーマットを動かしたため、定位置になく、離床を感知できず、介助レベルの利用者が自力で移乗し転倒しそうになりました。定期的にセンサーマットの設置状況の確認が必要です。

参考要因

人：利用者がコールボタンで介護職員を呼べなかった
モノ：誰かがセンサーマットを移動し、戻し忘れていた
管理：センサーマットの設置状況の確認が必要